

# 笑顔で対話

令和5年2月

羽島市教育委員会 教育政策課

## 豊かな心と志を育む鼓笛活動 ～福寿小 鼓笛活動～



58年続いている鼓笛は、6年生児童が毎年楽しみにしている活動です。今年は衣装を新しくして、運動会や音楽会、ドローン撮影会で発表しました。「全員の音も動きもぴったりとそろって気持ちよかった。最高！」と語るなど、達成感を味わいつつ、最高学年としての誇りある姿を示しました。



## 仲間と共に創り上げる音楽祭 ～中央中 文化祭～

12月8日(木)、「楽創(がっそう)」をスローガンに、音楽祭を開催しました。令和2年度より、発表内容を合唱からリズムアンサンブルに変更しました。各学級で合唱委員を中心に活動し「笑顔を忘れず、みんなと一緒にやりきれた！」と充実した思いを語る生徒の顔がとても素敵でした。

## よりよい地域づくりへ ～羽島モア学園「絆会議」～

1月13日(金)に、羽島中学校校区4校の児童会、生徒会役員と地域の方々が、校区の「あいさつ運動」について意見交流を行いました。

参加した小熊小学校の岩田秀一さん(6年)は、「他の学校の子や地域の方と交流することで、これまでになかった考えが生まれて、話し合いをしていて楽しかった。」と振り返っていました。

今後は、今回学んだ「あいさつの大切さ」を、家族にも伝えていきたいと話してくれました。



## VR 技術で歴史を「間近に」見学 ～進化する VR 技術 正木小～

正木小学校の6年生が10月28日（金）、仮想現実（VR）技術を使って、奈良県明日香村の石舞台古墳を疑似的に見学しました。VRゴーグルを装着した子供たちは、360度見渡せる立体的な映像を視聴しながら、ごつごつとしているように見える石室の壁に手を伸ばしたり、寝転がって天井を見上げたりして、実際の場所にいるような体験ができました。

実際に授業に参加した渡村萌絵さんは、「自分が動くとき背景も変わった。」「その場にいるみたい。」とVR技術に驚いていました。



## 一人一人を大切にされた教育 ～中島小 特別支援教育～

中島小学校の知的障がい特別支援学級では、一人一人の特性に配慮しながら個に応じた教育を行っています。ホワイトボードとタブレットを活用し、学びの充実を目指しています。環境を整え、個々に合わせた課題や問題に取り組むことで、子供たちの学習意欲が高まっています。算数の授業では「先生もっと問題を解きたい。」といった声が聞こえてきます。一人一人に合った適切な支援が子供たちの楽しい学校生活に繋がっていると感じました。



## 主体的・対話的な学び ～竹鼻小 授業公開～

12月5日（月）に公表会を行いました。

各教科の授業において、交流やプレゼンなど、互いの考えを共有したり、比較したりする場面がたくさんあり、子供同士が対話することで自分の考えをより確かなものにしていました。

市役所の職員をゲストティーチャーにした授業では、子供たちが市の問題を身近にあるものとしてとらえ、真剣に話を聞きました。



## お知らせ【教育委員会事務局より】

羽島市教育委員会は、「新しい時代の学校構想検討委員会」を設置し、多様化する時代において、学校のあり方や教育活動、学校運営、学校配置等についての調査及び審議をしていきます。また、「幼保小連携推進協議会」を設置し、幼児期の学びを踏まえた幼保小の連携について審議していきます。

会議の際の資料や審議内容は、羽島市のHPで公開しております。



羽島市教育委員会 〒501-6292 羽島市竹鼻町55番地

TEL (058) 393-4611 FAX (058) 391-0906

Email : kyoiku@city.hashima.lg.jp